

議事要旨	
<p>議事（１）ふるさとバス別院コース・畑野コース・畑野千代川コースのフリー乗降の導入について</p> <p>議事（２）ふるさとバス畑野コースの停留所の新設について</p> <p>議事（３）亀岡地区コミュニティバスの運行の一部変更について</p> <p>議事（４）桜シャトルバスの経路変更に伴う運賃について</p> <p>報告 コミュニティバス、ふるさとバスの試験運行の状況について</p>	
議事(1) ふるさとバス別院コース・畑野コース・畑野千代川コースのフリー乗降の導入について	
委員 (地域住民の代表)	この区間をフリー乗降区間として選定した理由は。
事務局	安全に運行・乗降できることが第一条件となるので、車の交通量や道路の形状等を考慮し警察と協議して決定した。 また、この地域は市の中心部に行くためには、ふるさとバスと京阪京都交通バスを乗り継ぐ必要があるため、利便性向上を図るためにもこの路線を選定した。
委員 (地域住民の代表)	道路は市中心部に近づくほど状態が良くなっていく。 他の地域へも拡大していくべきだと考えるがどうか。
事務局	まずはこの地域で実施して、どのようなメリット、デメリットがあるのか、また課題も出てくると思われるので、そのようなことを検証する中で他の地域への拡大を検討していきたい。
会長	バス停以外でバスが停車することになるので、後車は追い抜くのか、停まるのか、さらに二輪の場合は危険度が増すことも想定されるので、フリー乗降は交通量が多い所では危険かもしれない。そのようなことなども周知し、利用者が理解することで、フリー乗降が広まっていくのでないか、安全に運行・乗降できるのではないかと考える。 まずはこの地域で実施して、どのような効果があるのか、どのような問題があるのか確認していくのがよい。 議事（１）については承認でよろしいか。
委員 (全員)	異議なし。
議事(2) ふるさとバス畑野コースの停留所の新設について	
会長	桔梗シャトルバスの運行は大河ドラマの放映中だけなのか。 ふるさとバスの停留所として今後も続いていくのか。
委員 (京阪京都交通)	1日乗車券は、大河ドラマ館の割引券、湯の花温泉の特典を付けプレミアム感を出し作成した。バス運行については、大河ドラマ終了後も継続・維持できればと考えている。利用状況を確認する中で検討する。

会 長	でき得る限り運行を続けていただき、ふるさとバスとの相乗効果を期待する。 ダイヤについて、団体の場合は乗降に時間がかかる可能性があるため、実際に運行して必要に応じ変更していただきたい。
事 務 局	利用状況を確認する中でダイヤについては見直しも考えていきたい。
会 長	桔梗シャトルバスは地元にも周知し、ぜひ利用していただきたい。 議事（２）については承認でよろしいか。
委 員 員 （全 員）	異議なし。
議事（３） 亀岡地区コミュニティバスの運行の一部変更について	
会 長	①今回の変更により費用は発生するのか。 ②要望により変更するとのことだが、その人たちが利用されているかの確認などはどうするのか。
事 務 局	①変更による費用は発生しない。 ②変更対象の便の昨年の利用者数は、一便平均 7.6 人なのでこの利用者数が一定基準になると考えている。要望された地域の利用を期待している。
会 長	要望による変更なので利用者が増えることを期待する。 議事（３）については承認でよろしいか。
委 員 員 （全 員）	異議なし。
議事（４） 桜シャトルバスの経路変更に伴う運賃について	
会 長	昨年の運賃額は。
委 員 員 （京阪京都交通）	今回と同様 200 円である。
会 長	今回はなごみの里まで延長ということで、桜が綺麗なところであると聞いているのでぜひ利用していただきたい。 議事（４）については承認でよろしいか。
委 員 員 （全 員）	異議なし。

報告 コミュニティバス、ふるさとバスの試験運行の状況について

<p>委員 (地域住民の代表)</p>	<p>①篠地区コミュニティバスについて、牧田地区の工業団地が完成し、その従業員の通勤時間にあわせてバスを運行する考えはあるのか。 ②亀岡地区コミュニティバスについて、西つつじヶ丘美山台への運行する際、路上駐車が課題の一つであると聞いたが現状はどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>①工業団地が完成した際には、馬堀駅から通勤時間にあわせてバスの運行を検討する。 ②運行開始にあたりそのような懸念があったが、地元自治会の協力もあり、路上駐車により運行が妨げられることはないとしている。</p>
<p>会長</p>	<p>地元の要望もあつての継続なので、地元の方に多く利用していただきたい。</p>
<p>委員 (利用者の代表)</p>	<p>ふるさとバスにおける貨客混載について提案したが進捗状況は。</p>
<p>事務局</p>	<p>京都府内においてバスで貨客混載をしている地域がないという現状もあり進捗はしていない。京阪京都交通バスにおいても検討がなされているが課題も多く進んでいないのが現状である。地域性も大きくかわっていると考えられ、需要と供給のバランスが必要となってくるものと考えている。</p>
<p>委員 (利用者の代表)</p>	<p>京都府内において実施されていないからできない、というのではなく亀岡市が率先して進めてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>需要と供給という話が出たが、地域と話してそこからどのような方法があるのかを探っていくことも考えられる。</p>

以上